

# エンド・オブ・ライフケア と リハビリテーション

株式会社REVIVE 訪問看護ステーションありく布施  
理学療法士 楊川雅弘

## 訪問看護ステーションありく布施の紹介



利用者・家族の視点に添って  
ともに考え歩む“ありく”  
訪問看護ステーション  
**ありく布施**

療養上のお手伝い

健康状態の観察 医療処置

ターミナルケア 介護支援・相談

リハビリテーション 床ずれ予防・処置

医療機器の管理 介護予防

認知症ケア

訪問看護で  
できること

ご相談無料です！お気軽にお問合せください

事業所番号：2765091547 東大阪市荒川1-16-10  
訪問看護ステーション リバーライズ布施Ⅱ104号  
ありく 布施 TEL：06-4306-3622  
荒川小学校の西側にあります

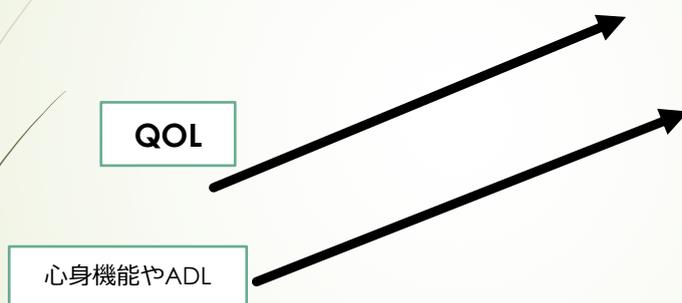
## 訪問看護ステーションありく布施

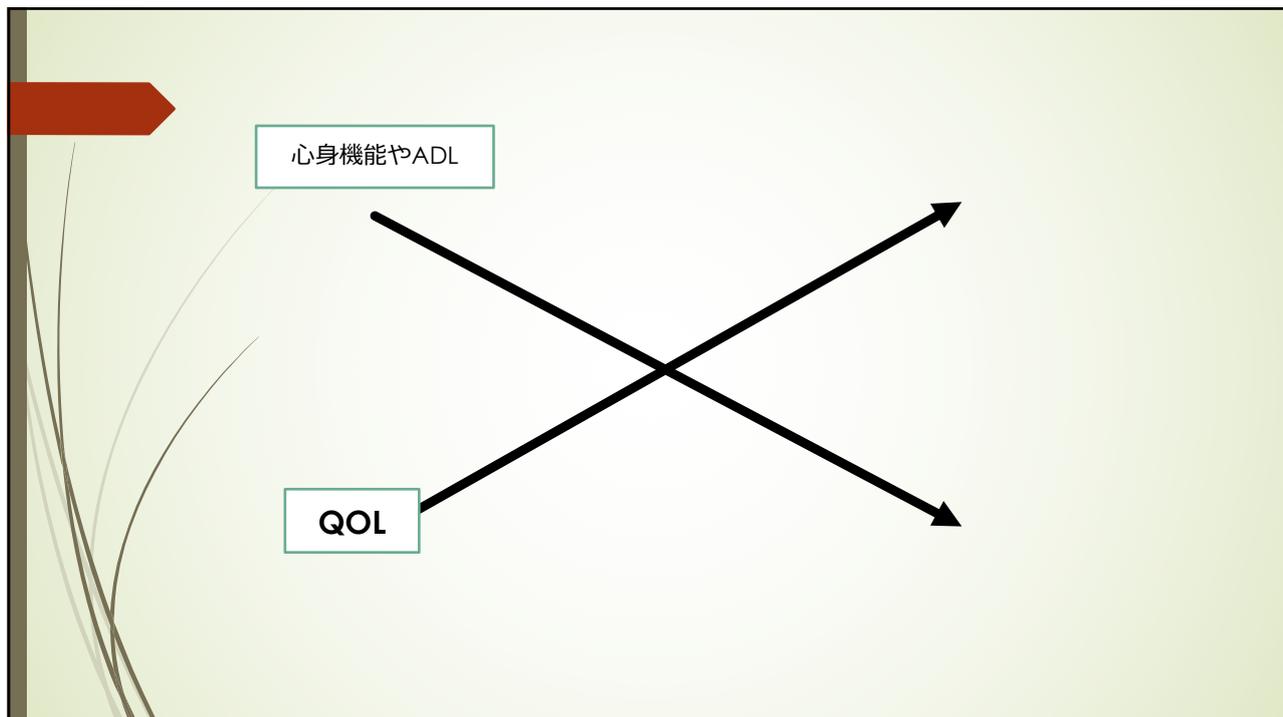
- ▶ 地域で「いきる」を支えるOne Team  
をモットーに日々、活動しています。  
→利用者様が「生きる・活きる」を感じられるよう  
に支援していきたいと思っています。
- ▶ 今後ともどうぞよろしく願いいたします。

## QOLとは？

- QOLとは、「Quality of Life (クオリティ・オブ・ライフ)」の略称で、日本語では「生活の質」などと訳され、「生きがい」や「満足度」という意味があります。QOLの評価は、人が人間らしく満足して生活しているか、自分らしい生活が送れているか「生活の質」を評価する概念です。
- 驚くべきことに、規律性の高い人は長生きする傾向があるが、規律性の低い人よりもQOLが低くなる可能性がある。
- 「医療の目的は長生きでなく、気持ちよく生きて、気持ちよく死ぬこと！」

## QOLが高めるためには





## 元船長のYさんとのエピソード

- 商船三井で大きなタンカーの船長をされていました。
- 世界を渡ってこられた方なので、スケールが大きく、いろいろなことをお話し下さいました。
- 自宅で再転倒をし、寝たきりになり、最後は肺炎で96歳で亡くなりました。
- 日ごろから「海に出たいな～、海を見たいな～」とおっしゃっていました。



## 理学療法士の強み

- ▶ 理学療法士のみならずリハスタッフの強みは、動作のプロです。
- ▶ 動作が困難な利用者に対して、動き方や福祉用具の選定等を駆使して動きや行為を支援することができます。

## 父親の看取りを経験して

- ▶ 頭頸部の癌で、眼窩と鼻腔奥に生じた粘表皮癌でした。
- ▶ 発症してちょうど1年で生涯を閉じました。
- ▶ 当初、主治医より比較的悪性度が低いと言われていました。ところが、状態は悪化していき、父の場合は悪性度が高いものでした。
- ▶ 父の願いは「孫が小学校に入るまででええから生かさせてくれ！」

## 唯一逆らえなかった看護師さんの存在

父は往生際が悪く、病気が発覚した時も長年吸っていたタバコはやめられませんでした。

入院中もよく外でタバコを吸っており、そんな父に本気で怒ってくれた看護師さんが現れてくれました。度重なる注意でも、なかなかやめられなかったのですが、ある時その看護師さんが「楊川さんはホンマに治す気があるん？孫が育つまで生きるんやろ！」って、泣きながら怒られたそうです

- ▶ 死前喘鳴はほんとうに見るに堪えがたい。
- ▶ 主治医は「本人は苦しくないよ」とだけ。
- ▶ しかし、看護師さんだけは泣いて称えながら悔やんでくれました。

## 最後に

- エンドオブライフケアとは

「生が終わる時まで最善の生を生きることができるように支援すること」

- 今後も訪問看護ステーションありく布施は、最善の生を生きるために～地域で「いきる」を支えるOne Team～として時には望みをかなえてあげ、父がお世話になった看護師さんのようにその人のためになることを伝え、利用者様の最大の支援者になれるよう頑張ります！

ご清聴ありがとうございました。